佐賀大学教育学部 1986年卒業

公明党
女性局次長

吉田 久美子（よしだ くみこ）

佐賀大学同窓の皆さま

大学時代の教育実習にて

キャンパスでの一コマ

このたび、次期衆院選の比例区（九州・沖縄ブロック）で公明党の公認をいただきました吉田久美子と申します。教員を目指していた私は１９８２年（昭和５７年）４月、念願叶い佐賀大学教育学部に入学しました。キャンパスに通い、多くの友人たちと語り合い学び合った４年間は、私にとってかけがえのない金の思い出となっています。

豊かな自然と文化あふれる佐賀県は、「教育先進地」です。多くの人材を輩出したこの地で教育学を学んだ経験を土台とし、子どもが輝き、女性が輝く希望の未来（あした）を開いてまいります。佐賀大学の同窓の皆さま、何卒、よろしくお願い申し上げます。

吉田 久美子

プロフィール

主婦として子育てに奮闘していた 1997 年当時、社会問題となっていたダイオキシンによる汚染が、母乳を介して乳児に伝わっていることに胸を痛め、1998 年 1 月に『ダイオキシンから生命（いのち）を守る母の会』を結成。同会の代表として、ダイオキシン対策を求める 31 万筆の署名を集め、国に届けた経験をもつ。

以来、社会問題に強く関心を持ち、2000 年には不妊治療への公的助成を求める署名活動に携わるなど、女性の視点からさまざまな社会活動に参加。

現在は、『女性の声で輝く未来を開く会（通称：福岡ミモザの会）』の代表を務める。

◎1963 年 7 月　佐賀県鳥栖市生まれ
◎1979 年 3 月　鳥栖市立鳥栖中学校 卒業
◎1982 年 3 月　佐賀県立鳥栖高校 卒業
◎1986 年 3 月　佐賀大学教育学部 卒業

【家族構成】夫、娘、息子、義母の 5 人家族　　【趣味】読書、ピアノ

あなたとつなぐ希望の未来（あした）

いのち **つなぐ**

いのち **輝く**

いのち **守る**

不妊治療の支援充実

誰もが活躍できる共生社会を

女性支援の相談窓口を整備

実行力! 公明党

新型コロナウイルス対策に全力!

ワクチンの安全な接種の後押しと接種体制の整備

公明党は、ワクチン接種後に健康被害が生じた場合の、国の救済制度創設を要望。医療費や障害年金などの給付が受けられるようになりました。副反応の情報を集めて対応する体制整備も進んでいます。また、党本部と各都道府県に「新型コロナウイルスワクチン接種対策本部」を設置し、各自治体の接種体制の整備を進めてまいります。

関連動画はコチラ

― 新型コロナ 支援制度 ―

① 休業の影響が続いている

休業手当が受け取れない中小企業労働者に支給する「休業支援金」が、大企業の非正規雇用労働者も対象になりました。

② 収入が減って家計が苦しい

生活再建へ最大120万円借りられる「総合支援資金」は、最大60万円の再貸し付けが可能に。家賃を補助する「住居確保給付金」は、今年度中の新規申請で支給期間が最長12カ月まで延長されます。

実現力! 公明党

“赤ちゃんがほしい”の声に応える!

不妊治療 1月から助成制度拡充! 保険適用は22年4月スタート! 不育症 検査費用の負担軽減

不妊治療について、22年4月から保険適用を実施するとし、それまでの期間は現行の助成制度を拡充します。具体的には来年1月から、夫婦合計で「730万円未満」とされている所得制限を撤廃。「初回30万円、2回目以降は15万円」だった助成額は、2回目以降も30万円とし、助成回数も「生涯で通算6回まで」（妻が40歳以上43歳未満は3回）から、「子ども1人あたり6回まで」（同）に見直します。また、対象は法律婚の夫婦だけではなく、事実婚のカップルにまで広げます。

【九州公明党HP】https://komei-kyushu.net/

キリトリ線　　キリトリ線

吉田久美子（よしだくみこ）を応援します!

後援会入会申込書

●個人情報は厳重に管理し、「公明党後援会」の活動目的以外には利用しません。

公明党後援会　規約（抜粋）

名称／この会は、公明党後援会（以下本会）と称する。目的／本会は、公明党の政治活動を支援することを目的とする。財政／本会の経費は、寄付金その他の収入をもって充当し、会費等は徴収しない。

連絡先：〒812-0053　福岡市東区箱崎1-1-15　TEL:092-651-1151　FAX:092-651-1167

お名前（フリガナ）	TEL
会社名（商店名）または団体名	
ご住所（〒　　－　　）	